

明治大学 vs 東京国際大学

5月6日(火・休)
11:30K.O.
味フィ西

なかなか波に乗りきれずにいた明大だったが、前節の早大戦は2-1の勝利。

「上位の早大に勝てたことはとても大きい。とにかく勝つということを目指していたから、勝って本当によかった」(栗田大輔監督)

しっかりと守備からチャンスを確実に決めて、試合を優位に進めた。

「うちは守備から入るチームだから、守備の部分がしっかりできたことがよかった。それと、一人ひとりが落ち着いて自分の判断でボールを動かしたことが、今までと違ってよかった」(栗田助監督)

しっかりと手応えを得ただけに、この試合が明大にとってターニングポイントになるかもしれない。

「負けられない状況にある。もう一度、明大がやろうとしている、いい守備からいい攻撃へということ徹底し、勝ちを取れたらいい」(栗田助監督)

今シーズン1部に昇格した東国大だが、前節は優勝争いをして慶大に2-0で勝利。調子が上がってきた。「慶大はカウンターを狙ってくると思う、対策として中にクロスボールを入れながら得点を取るといったトレーニングをしてきた。まさしくその形で点が取れたのでよか

った。リードをしたとはいえ相手も力があるわけだから、そこを最後の最後まで集中してはね返したのが、今回の勝利の要因だと思う」(前田秀樹監督)

内容自体は悪くない試合が続いていただけに、この勝利は今後のプレーの確信に変わるはず。一方で勝ち続けるためには、

「ボールを取ってから、もう少し落ち着いてスペースにパスをすることができたらよかった。相手の出方によってプレーを変えていかなければいけない」(前田監督)

昨年のリーグ戦での対戦はなし

明大				東国大			
6. 高橋	8. 石原	22. 菅原	29. 新間				
13. 小池	18. 苅部	4. 加藤	15. 舩田				
	17. 小谷		10. 若井				
1. 三浦			21. 今野				
	7. 差波		8. 上船				
3. 山越	9. 矢島	9. 福島	5. 鈴木				
2. 室屋	11. 藤本	7. 小玉	3. 新地				

早稲田大学 vs 慶應義塾大学

5月6日(火・休)
13:50K.O.
味フィ西

勝って首位の専大にプレッシャーをかけたい早大だったが、前節の明大戦は1-2の敗戦。

「戦いきれなかった。メンタル面で難しい状況に追い込まれたときに、積極性や大胆さを失って受け身になってしまったと思う」(古賀聡監督)

前半、相手にボールを保持されながらも我慢強くプレッシャーをかけていくことができていたが、徐々に耐えきれずに2失点。アディショナルタイムに1点差に詰め寄ったが、時すでに遅かった。

「ボールを奪ってから早さを出して、相手の態勢が整う前にゴールに迫りたかったが……。迫力もないし、ゴールへのエネルギーを出すことができなかった」(古賀監督)

ここ2試合で1分1敗と苦しい戦いが続いているが、「早慶戦ということで大きなプレッシャーがかかると思うが、その中でアグレッシブに戦い続けるということ表現したいし、求めていきたいと思う」(古賀監督)

5試合を戦って3勝2分。無敗と好調だった慶大だったが、前節の東国戦は0-2の敗戦を喫してしまった。「完敗。内容も結果も完敗ということで、次の試合に向けて気持ちの切り替えをしたい」(須田芳正監督)

ここまで安定していた守備だったが2失点。攻撃面でも思いきりのよさを発揮できなかった。自信を持って戦ってきただけに、この1敗でつまづかないかが心配のタネだろう。

「3日後なのでまずは身体の回復が一番だが、リーグ戦では連敗しないことが大切。心と身体の回復をしていきたい」(須田監督)

優勝を狙うためには、どちらも負けられない一戦だ。警告3回：園田慎一郎(早大)、溝淵雄志(慶大)

昨年の対戦：前期/早大2-1慶大、後期/早大2-1慶大

早大				慶大			
20. 平澤	14. 堀田	8. 山浦	3. 溝淵				
3. 田中進	15. 上形	15. 宮地	6. 望月				
	23. 園田		29. 浅間				
1. 松澤			1. 峯				
	6. 近藤洋		25. 小坂				
2. 奥山	11. 山内	26. 加瀬澤	5. 並木				
22. 新井	7. 近藤貴	11. 増田	4. 保田				

JR東日本カップ 2014 第88回 関東大学サッカーリーグ戦

OFFICIAL MATCHDAY PROGRAM

VOL.26-NO.7 Division1



編集：加茂郁実 発行：(一財)関東大学サッカー連盟 協力：関東大学サッカーサポーターズクラブ

注目の一戦、専大 vs 順大の行方は!?

前期リーグも中盤に差しかった「JR東日本カップ2014 第88回関東大学サッカーリーグ戦」。ゴールデンウィークの熱戦の模様を紹介しよう。首位を走る専大は、優勝を狙う流経大との対戦。開始2分に先制点を奪われる苦しい展開となった専大だったが、後半3分にPKから同点にすると、アディショナルタイム3分には逆転に成功。大きな勝点3をゲットした。流経大は痛い連敗を喫した。

国士大 vs 順大は、今シーズンの勢いがそのまま結果に出た。前半は緊迫したゲームとなり0-0で折り返したが、後半に入ると順大が2点を奪ってリード。国士大も1点を返したが同点にはできず、順大が大きな勝点3をゲットした。国士大は勝点を伸ばせなかった。

専大を追う慶大は、1部昇格組の東国大との対戦。徐々に力を発揮できるようになってきた東国大は、この日も勢いがあり、前半32分、後半35分にゴールを奪って2-0で慶大に完封勝利。東国大はエンジンがかかってきた。ここまで安定した守備を誇ってきた慶大だが、2失点は今後に向けて不安材料。

5節で引き分け、優勝争いをするためにもこれ以上負けられない早大は、同じく優勝を狙う明大との対戦。明大が2点を先行する展開で、早大もアディショナルタイムに1点差に詰め寄ったが、2-1で明大が勝利を飾った。早大は優勝争いから一歩後退。

得点ランキング

前澤 甲気 (専大)	7点
近藤 貴司 (早大)	4点
山根 視来 (桐蔭大)	4点
以下3得点5名	

アシストランキング

北出 雄星 (専大)	4アシスト
仲川 輝人 (専大)	3アシスト
望月 大知 (慶大)	3アシスト
以下2アシスト8名	

いまだ白星がない中大と、5節で初勝利を挙げた駒大の一戦は、駒大がその勢いを維持し2-1で中大を下して2連勝。中大は勝点1から伸ばせず、苦しい戦いが続いている。

同じく2引き分けで勝利がない筑波大と、5節でようやく勝点1をゲットしたものの、やはり勝利がない桐蔭大の一戦は、前半12分に筑波大が先制点を奪ったものの、前半のうちに桐蔭大が3ゴールを奪って逆転。このまま3-1で逃げきり、桐蔭大は今シーズン初勝利を挙げた筑波大の苦しい戦いはまだまだ続く。

今節は1位の専大と2位の順大が直接対決。大きな山場となる一戦だ。両チームがどういった戦いを繰り広げるのかが注目したい。

JR東日本カップ 2014 [第88回] 関東大学サッカーリーグ戦 星取表

順位	チーム名	専大	順大	早大	慶大	明大	国士大	流経大	駒大	東国大	桐蔭大	筑波大	中大	試合数	勝数	分數	負數	得点差	得失点差	勝点	
1	専大		5月5日	6月15日	2△2	5月24日	5月10日	2○1	6○0	2○0	5○2	5月17日	4○2	6	5	1	0	21	7	14	16
2	順大	フクアリ		0△0	5月10日	0△0	2○1	3○1	5月17日	5月24日	4○1	2○0	6月15日	6	4	2	0	11	3	8	14
3	早大	味フィ西	0△0		5月6日	1●2	5月18日	5月10日	3○1	2○0	0△0	5月25日	2○1	6	3	2	1	8	4	4	11
4	慶大	2△2	フクアリ	味フィ西		2○0	0△0	5月18日	5月24日	0●2	6月15日	1○0	2○1	6	3	2	1	7	5	2	11
5	明大	川口	0△0	2○1	0●2		6月14日	0●1	2○0	5月6日	4○1	5月10日	5月18日	6	3	1	2	8	5	3	10
6	国士大	味フィ西	1●2	味スタ西	0△0	味フィ西		5月5日	2△2	1△1	1○0	3○0	5月24日	6	2	3	1	8	5	3	9
7	流経大	1●2	1●3	たつこの	たつこの	1○0	たつこの		0●3	4○3	5月24日	6月14日	1○0	6	3	0	3	8	11	-3	9
8	駒大	0●6	ゼットイー	1●3	たつこの	0●2	2△2	3○0		6月15日	5月10日	5月6日	2○1	6	2	1	3	8	14	-6	7
9	東国大	0●2	千葉東総	0●2	2○0	味フィ西	1△1	3●4	古河		5月17日	1△1	5月10日	6	1	2	3	7	10	-3	5
10	桐蔭大	2●5	1●4	0△0	古河	1●4	0●1	たつこの	保土ヶ谷	たつこの		3○1	5月5日	6	1	1	4	7	15	-8	4
11	筑波大	たつこの	0●2	BMWス	0●1	味フィ西	0●3	味フィ西	駒沢陸上	1△1	1●3		0△0	6	0	2	4	2	10	-8	2
12	中大	2●4	味フィ西	1●2	1●2	味スタ西	川口	0●1	1●2	フクアリ	夢の島	0△0		6	0	1	5	5	11	-6	1

体育会学生のための

リクナビ就職エージェント

ゴールは、自分の中にある。

部活と就活にエールを送る! 体育会学生のための「リクナビ就職エージェント」

リクナビ 体育会

※布陣は前節のメンバーを参考にした予想

専修大学 vs 順天堂大学

5月5日(月・祝)
13:50K.O.
フクアリ

好調な滑り出しを見せた専大だったが、リーグが進むにつれてやや苦しんでいる。前節の流経大戦も開始2分

に失点。「流経大の最初のプレーに圧倒された」(源平貴久監督) それでも何とか持ち直して、後半に前澤甲氣(4年)

の2ゴールで逆転に成功。勝点3をゲットしたのはさすがの一言だ。

「仲川輝人(4年)がいなくても、チームとして頑張れた」(源平監督) というように、攻撃の核となる仲川が負傷欠場という

苦しい状況でも勝てたことは自信につながるが、さらに中盤からしっかりとした組み立てを行い、専大らしい

圧倒した攻撃を見せたいところだ。今シーズン、台風の目になっている順大。国士大を2

-1で下して4勝2分と負けなしで、2位をキープしたまま今節、首位。専大との対決を迎える。

「前半、蹴り合いになってしまった。落ち着いて攻撃につなぐような、攻撃の起点を作れなかったのが大きな反省」(吉村雅文監督)

決して満足のいくゲームではなかったが、後半にシステムを変更し、しっかりと立て直して2ゴール。ゲーム

中の対応力も今年のチームは持っている。「3ボランチくらいのイメージでゲームをやれという指示をしてから、少しボールを動かせるようになった。前半よりチャンスを作れたのがよかった」(吉村監督)

何より負けないという自信が芽生えているのが大きい。「3年間トップのチームの専大と、無傷で争えるというのは学生にとっては大きな刺激になると思う」(吉村監督)

順大の真価が問われるゲームだ。 **昨年の対戦：前期/専大2-1順大、後期/専大2-1順大**

専大			順大		
5. 小口	38. 廣瀬	23. 新里	3. 吉永		
6. 河津			4. 谷奥		
	8. 星野		6. 長谷川涼		
1. 福島	7. 北出	9. 山川	20. 佐野	10. 長谷川竜	21. 大畑
	24. 大友		7. 内山		
3. 萩間			5. 新井		
2. 北爪	11. 前澤	22. 米田	13. 宮本		

国士舘大学 vs 流通経済大学

5月5日(月・祝)
13:50K.O.
たつのご

昨年の後期リーグほどの勢がない国士大。前節の順大戦は1-2の敗戦を喫してしまい、勝点を伸ばすことはできなかった。

「ただ、自分たちがやろうとしていることが、完璧とはいかないけどできてきた。負けた瞬間は悔しかったが、先週よりははるかに惜しいものが見られる。相手のボールになったときでも積極的なサッカーをやっている」

と、細田三二監督は手応えを得ている。実際、2失点したあとに1点を奪って順大を追いつめた。あとは、これをいかに結果という形に結びつけるか。

「相手の状況によって裏を狙い、ボールを運んでもよかったと思う。一本調子になってしまった」(細田監督) パスをつないでいくもののスピードに変化がなく、相手が守りやすかった面は否めない。状況に応じた攻撃をしていく必要があるだろう。

前節の専大戦で、開始2分に先制点を奪いながら後半に2失点してしまい、1-2の敗戦と2連敗を喫してしまった流経大。これで3敗目。優勝争いをするには、これ以上は負けられないというところまで追いつめられた。

「5節よりは価値のある敗戦だった。だからこそ中2日の次節へ向けて、メンタル面への影響が心配」(中野雄

二監督) 試合内容自体は悪くないが、連敗したことで選手に与える影響が心配される。また、前線から激しいプレスをかけて専大の攻撃を抑えたが、後半はミスが多くなってリズムも悪くなり防戦一方。シュートも0本に終わってしまった。特に、守備の部分でのミスは、もう一度見直さなければならないだろう。本来のサッカーをしっかりと取り戻したいところだ。

警告3回：富田湧也(流経大) **昨年の対戦：前期/国士大1-1流経大、後期/国士大2-1流経大**

国士大			流経大		
12. 藤寄	10. 進藤	7. 森保			
13. 端	16. 木下	11. 富樫	26. 藤原		
	38. 平野		10. 野口		
30. 大谷		20. 江坂	5. 川崎	1. 中島	
	8. 松本		25. 古波津		
5. 仲島	11. 平松	12. 藤山	15. 塚川		
7. 橘	17. 高見	2. 湯澤			

中央大学 vs 桐蔭横浜大学

5月5日(月・祝)
13:50K.O.
夢の島

厳しい戦いが続いている中大。前節の駒大戦も1-2の敗戦を喫し、6試合を戦って勝点1。早くも残留争いに巻き込まれている。

「選手は頑張っているが、やっていることがバラバラ。それを統一させないと勝てない」(白須真介監督) まだチームとして成熟していない感が強く、前節もシュート3本と駒大に圧倒された。後半8分に先制点を奪

われながら、38分には同点に追いつく粘りを見せたものの、43分に失点してしまい万事休す。勝点を得ることはできなかった。

「もっと走らないといけない」(白須監督) ボールを保持している選手だけではなく、その周囲の選手のサポートがもっと必要だ。

「今の順位を考えたら余裕はないので、一戦一戦を本気で戦わなければいけない。その気持ちをしっかり見せたい」(白須監督)

筑波大を相手に前半12分に先制点を奪われた桐蔭大だったが、6分後に同点に追いつくと、24分、28分にもゴールを奪って3-1で勝利を収めた。

「勝ててよかった。昨年、筑波大には一度も勝てなかったのうれしい」

八城修監督は初勝利にほっとした表情だった。「先制されたにもかかわらず、逆転できたことは大きい。4連敗したが、自分たちにも力があるということを確認できた。自信になった」(八城監督)

この1勝をキッカケにしたい。ただ、立ち上がりから押し込みながらも、先制点を奪われたことは反省点だ。「簡単にボールを失う場面がたくさんあった。ボールを失うサッカーはつまらないので修正したい」(八城監督)

警告3回：福島翔太郎(桐蔭大) **昨年の対戦：前期/中大1-1桐蔭大、後期/中大2-1桐蔭大**

中大		桐蔭大	
22. 新藤	11. 古橋	8. 山崎	11. 石堂
3. 小出	37. 矢島	30. 鈴木	4. 古澤
	25. 三島		12. 金子
21. 置田			21. 田中雄
	20. 橋本		6. 福島
5. 岡崎	4. 渋谷	28. 石川	33. 田中憧
13. 高橋	10. 砂川	7. 山根	18. 佐々木

筑波大学vs駒澤大学

5月6日(火・休)
13:50K.O.
駒沢陸上

「勝てないことが最大の反省点」(筑波大・中山雅雄監督) 前節の桐蔭大戦も前半12分に先制点こそ奪ったが、その後3失点して1-3の敗戦。ここまで6試合を戦って2分4敗と、結果が出ずに苦しんでいる。

「一つひとつのちょっとしたプレーの遅れやミスが、最後の決定的な失点につながるケースが多い。ボールを持っている選手だけでなく、持っていない選手も含め、全員が一つに対してきちんとプレーすることを、90分間切らずに続けて初めてチャンスが作れる。後半は押していたが、決め切れない」(中山監督)

悪い試合ばかりではないが、なかなか勝点が取れないことで自信を失っている。「駒大はシンプルにサイドからクロスを上げて、高い選手に当てる印象。フィジカルも強いし、体を張って守ってくる。ただ、相手によって、うちのやり方を変えようとは思っていない。筑波大らしいサッカーで主導権を握って勝ちたい」(中山監督)

5節でリーグ戦初勝利を挙げた駒大。前節も2-1で中大を下し2連勝と、ようやく波に乗ってきた。「最後に点を取れて勝ててよかった。選手が一人ひとり頑張るようになってきたと思う。勝敗は別とし

て、このような戦いが続けられるようにしたい。そうしたら勝利もついてくると思う」(秋田浩一監督) 2ゴールとも小牟田洋佑(4年)のヘディングを絡めての得点で、

「小牟田が競ったボールをみんなが拾えるようになったから、両サイドからセンタリングが上げられるようになった。そこから決定的なチャンスを作ることができた」(秋田監督)

確実に駒大の形ができています。これを継続していきたい。**昨年のリーグ戦での対戦はなし**

筑波大		駒大	
34. 浅岡	10. 中野嘉	7. 平野	13. 大木
7. 車屋	29. 中野誠		4. 平尾
	6. 片岡		10. 板倉
1. 岩脇		9. 小牟田	1. 秋山
	14. 吉田	11. 小牧	
		17. 立石	
5. 西村	28. 北川		5. 伊藤
8. 早川	11. 高柳	19. 吉岡	16. 柳川

※布陣は前節のメンバーを参考にした予想